

JSPP は、PCP 研究会が発足当初から取り組んできた 全国処方調査を引き継ぎ、発展させます！



精神科臨床薬学（PCP）研究会は、2006 年の発足以来 18 年間にわたり、全国ブロック講演会の開催と大規模な全国処方調査を主軸とした活動を展開してきましたが、諸般の事情により 2024 年 3 月をもってその役目を終え閉会となりました。

2005 年に始まった全国処方調査は、北海道から沖縄まで多くの施設のご協力のもと毎年定日調査を実施し、2009 年には 20,000 名を超える患者データを基にした本邦最大規模の調査研究へと発展、現在に至るまで継続しています。その成果の一部は、日本精神神経学会や日本精神薬学会で発表され、また論文としても公表されています。さらに「向精神薬多剤投与の減算規定」の基礎データとしても活用されました。

日本精神薬学会（JSPP）は PCP 研究会の優れた取り組みを継承します。

JSPP は全国処方調査を引き継ぎ、発展させる 所存です。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

これまで全国処方調査に参加されたことのない方も、この機会にぜひご参加ください。また、JSPP にまだご入会頂いていない方々がいらっしゃいましたら、ぜひお声かけ頂き、あわせて全国処方調査へのご参加をお誘い下さいますよう、お願い申し上げます。

精神科臨床薬学（PCP）研究会世話人一同
日本精神薬学会（JSPP）理事一同
JSPP 学術調査研究小委員会委員一同

（お問い合わせ先：JSPP 事務局 e-mail : contact@js-pp.or.jp）